パーティクル

1. パーティクルの機能

①前置詞になる

:名詞を目的語に取って(=名詞の前について)その名詞を AD または FA・C に入る形容詞 に変える

- *the table:そのテーブル〔名詞〕
- 〔AD〕on the table:そのテーブルの上に <u>put the book on the table</u>. 〔K3〕:私はそのテーブルの上に本を置いた。
- [FA] on the table:そのテーブルの上の <u>The book on the table is mine</u>. (K2):そのテーブルの上の本は私のものです。
- (K2)のSC入る形容詞 The book is on the table.(K2):その本はそのテーブルの上にある。 SVSC
- S V SC [K5]のOC入る形容詞 <u>| put the book on the table</u>. [K5] :私はその本をそのテーブルの上に置いた。 SV O OC

②句動詞になる

- :動詞と合体し句動詞を作る。 パーティクルは動詞と合体して(動詞の後ろについて)その動詞の意味を広げる。 例えば turn「回す」という動詞に「接触・活動」を表す on というパーティクルが合体すると turn on「スイッチを入れる」という意味の句動詞になる。
- 以下にいくつかの句動詞を例示する。

[K1] の句動詞

- ・get up:起きる (get は「ある状態になる」というイメージの動詞) <u>l got up at 6</u>. [K1] S V
 ・take off:離陸する
- The plane took off. (K1)
- ・lie down:横になる <u>l lay down on the bed</u>. [K1]

[K3]の句動詞

- ・ put on:着る
 <u>I put on my hat</u>. [K3] → <u>I put my hat on</u>. / <u>I put it on</u>. [K5] (目的語が代名詞の場合は必ずこの語順)

 S V O S V O S V O OC
 ・ turn on:スイッチを入れる
- $\underline{| \text{turned on the TV}. (K3) \rightarrow \underline{| \text{turned the TV on}. (K5)}$
- ・look up:(辞書などで)調べる <u>looked up the word</u>. [K3] → <u>looked the word up</u> [K5].
- ・hold out:差し出す He held out his hand to greet me. [K3] → He held his hand out to greet me [K5]
- ・hold in:隠す <u>He always holds in his feelings</u>. (K3) → <u>He always holds his feelings in</u>. (K5)
- ・take out:デートに連れ出す Did <u>you take out Sue last night</u>? (K3) → Did <u>you take Sue out last night</u>? (K5)
- ・throw away:捨てる Don't <u>throw away the magazine</u>. (K3) → Don't <u>throw the magazine away</u>. (K5)

2. パーティクルのイメージ

パーティクルは、それぞれのパーティクルが持つイメージでとらえることが非常に大切である。それによって、前置詞(AD・FA)と句動詞の意味は、イメージで自然に理解し、使いこなすことができるようになる。以下に各パーティクルのイメージを図示する。



パーティクルのイメージチェック

〔位置関係のパーティクル〕



〔方向性のパーティクル〕

